

Ⅲ 工業用水道事業



「バタフライ弁設置工事」



「設置状況」

バタフライ弁とは、バルブ内にある弁体（フタ）を90度回転させる操作により、水を止めることができるものです。

今回の工事は、箕沖町に布設されている工業用水道管（900mm）内に設置の既設バタフライ弁を更新したものです。

今後、この地域で漏水事故が発生した時、このバルブを操作することで、断水による影響範囲を少なくすることができます。

1 水 源

水源量及び水利権量

(単位：m³/日)

系統	水源名	種 別	水源量	水利権量 ※
中津原浄水場	芦田川自流水	表流水	70,000	180,000
〃	三川ダム	表流水	60,000	
〃	八田原ダム	表流水	50,000	
箕島浄水場	芦田川河口堰	表流水	170,000	122,000
計			350,000	302,000

※ 水利権量は、河川法第23条及び第24条の規定に基づき許可を得ている水量。

2 施 設

(1) 施設能力

(単位：m³/日)

系 統	取水地点	取水能力	配水能力	備 考
中津原浄水場	中 津 原	180,000	180,000	1965(S40).4.1 給水開始
箕島浄水場	箕 島 (河口堰)	170,000	113,000	1978(S53).4.1 給水開始
計		350,000	293,000	

(2) 中津原浄水場系施設

施設	名 称	構 造 ・ 能 力	数量	備考
◆ 中津原浄水場 (面積 89,711.82m ² ※) 所在地：御幸町大字中津原158				
取 導 水 施 設	取 水 堰 堤	コンクリート造 高0.8m 長124m 排砂ゲート(6.5m)2門	1基	※
	取 水 路	コンクリート造 幅6.0m~8.0m 長120.8m 深2.1m	1路	※
	沈 砂 池	RC造 幅21.0m 長42.0m 深4.0m	1池	
	導 水 管	鋼管 口径1,200mm×107.3m, 口径1,400mm× 4.0m	1条	
	〃	鋼管 口径1,500mm× 2.1m	1条	
	〃	鋼管 口径1,200mm×142m	1条	
	〃	鋼管 口径1,800mm×287m	1条	
	導 水 ポ ン プ 井	RC造 幅10.30m 長4.65m 深2.55m	1池	
	〃	RC造 幅10.30m 長4.75m 深2.70m	1池	
	導 水 ポ ン プ	口径500mm 揚程3.3m 揚水量31m ³ /分 30kW	2台	
〃	口径500mm 揚程3.8m 揚水量31m ³ /分 30kW	2台		
〃	口径500mm 揚程3.8m 揚水量28m ³ /分 30kW	2台		
〃	口径350mm 揚程3.5m 揚水量14m ³ /分 15kW	2台		

※印は、上水道と共用である。

施設	名 称	構 造 ・ 能 力	数量	備考
浄水施設	着 水 井	RC造 幅8.05m～4.20m 長18.15m 深4.60m	1池	
	〃	RC造 幅8.05m～4.20m 長17.65m 深4.80m	1池	
	計 量 器	せき式流量計	2台	
	薬品注入設備	硫酸アルミニウム, ポリ塩化アルミニウム	1式	
	急速攪拌池	RC造 幅4.7m 長7.5m 深2.5m	2池	
	フロック形成池	RC造 幅39.0m 長14.0m 深3.6m (4段)	2池	
	薬品沈澱池	RC造 幅46.35m 長39.10m 深2.50m (横流式傾斜板付き)	1池	
〃	RC造 幅44.7m 長39.1m 深2.5m (横流式傾斜板付き)	1池		
浄水池	RC造 幅44.7m 長15.0m 深3.5m	2池		
送配水施設	送水ポンプ井	RC造 幅31.5m 長3.4m 深3.5m	1池	
	送水ポンプ	口径400mm×350mm 揚程31m 揚水量14.5m ³ /分 125kW	1台	
	〃	口径500mm×400mm 揚程32m 揚水量28m ³ /分 210kW	4台	
	〃	口径500mm×400mm 揚程32m 揚水量28m ³ /分 225kW	1台	
	送水ポンプ室	RC造 平屋建 面積420m ² (10.5m×40.0m)	1棟	
	計 量 器	口径1,100mm 超音波流量計	1台	
	〃	口径1,100mm 超音波流量計	1台	
送水管	送水管	鋼管 口径1,100mm×3, 123m 口径1,100mm×3, 232m	1式	
	配水池	蔵王工業用水配水池 RC造 有効容量8,400m ³	1池	
	〃	蔵王工業用水配水池 RC造 有効容量8,500m ³	1池	
	計 量 器	口径900mm ベンチュリー管	1基	
〃	口径900mm 電磁流量計	1台		
排水処理施設	一次濃縮槽	RC造 内径26.0m 深4.1m 有効容量2,200m ³	1池	※
	二次濃縮槽	RC造 内径13.0m 深2.2m 有効容量300m ³	1池	※
	排水処理設備	脱水機1.5m×1.5m×87ch (脱水面積321m ²)	3台	※
	排水処理棟	RC造 2階建 延床面積398m ²	1棟	※
電気設備	受電設備	22,000V 2回線受電	1式	※
	変電設備	22,000V/3,300V 6,000kVA×2台	1式	※
	発電設備	ディーゼルエンジン発電機 750kVA 3,300V	1式	※
	発電機室	RC造 平屋建 面積209.6m ²	1棟	※
	太陽光発電	水質管理センター棟 9.36kW	1式	※
管理施設	中央管理センター	RC造 2階建(一部3階建) 延床面積2,430m ²	1棟	※
	水質管理センター	RC造 5階建 延床面積2,722m ²	1棟	※
	監視制御設備	広域監視制御装置 (主監視制御装置7台)	1式	※
◆ 工水大門第1ポンプ所 所在地：大門町三丁目36-12				
加圧施設	受水槽	RC造 有効容量225m ³	1槽	休止(2015年3月31日)
	送水ポンプ	口径200mm×150mm 揚程65m 揚水量3.8m ³ /分 70kW	3台	
◆ 工水大門第2ポンプ所 所在地：大門町三丁目36-12				
加圧施設	受水槽	RC造 有効容量229.5m ³	1槽	
	送水ポンプ	口径200mm×150mm 揚程65m 揚水量3.5m ³ /分 60kW	3台	

※印は、上水道と共用である。

(3) 箕島浄水場系施設

施設	名 称	構 造 ・ 能 力	数量	備考
◆ 箕島浄水場 (面積 32,157.97㎡) 所在地：箕島町字釣ヶ端新開10-310				
水 導 施 設	取 水 口	RC造 幅5.9m 長2.1m 深9.8m	1基	
	取 水 路	RC造 幅1.6m 長25.0m 深1.6m	2路	
	接 合 井	RC造 幅3.6m 長3.6m 深10.1m	2池	
	取 水 管	口径1,800mm×21m	1条	
	沈 砂 池	RC造 幅10.0m 長30.0m 深6.6m	1池	
	取 水 ポ ン プ	口径600mm 揚程5.5m 揚水量34m ³ /分 50kW	3台	
	〃	口径400mm 揚程5.5m 揚水量18m ³ /分 30kW	1台	
	取 水 ポ ン プ 棟	RC造 地上1階 地下2階建 延床面積215.8m ²	1棟	
	取 水 バ イ パ ス 管	ポンプバイパス管 鋼管 口径900mm×8.9m, 1,100mm×22.1m	1条	
	〃	沈澱池バイパス管 鋼管 口径1,000mm×138m	1条	
計 量 器	〃	口径1,100mm 超音波流量計	1台	
	〃	口径1,000mm 超音波流量計	1台	
導 水 管	鋼管 口径1,000mm×10.7m, 1,500mm×27.6m	1条		
浄 水 施 設	着 水 井	RC造 幅3.5m 長13.3m 深4.9m	1池	
	着水井バイパス管	鋼管 口径700mm×41.7m	1条	
	計 量 器	せき式流量計	1台	
	〃	口径700mm 超音波流量計	1台	
	薬品注入設備	次亜塩素酸ナトリウム, 硫酸アルミニウム, 濃硫酸, ポリマー, 硫酸銅	1式	
	次亜塩貯蔵室	RC造 平屋建 面積71.25m ²	1棟	
	薬品注入室	RC造 2階建 延床面積210.3m ² (次亜塩素酸ナトリウム)	1棟	
	〃	RC造 2階建 延床面積501.5m ² (硫酸アルミニウム, 消石灰, ポリマー, 硫酸銅)	1棟	
	〃	CB造 平屋建 面積6.7m ² (濃硫酸)	1棟	
	急速攪拌池	RC造 幅5.9m 長10.5m 深4.2m	1池	
フロック形成池	RC造 幅58.8m 長12.0m 深4.2m (3段)	1池		
薬品沈澱池	RC造 幅60.0m 長30.0m 深2.55m (横流式傾斜板付き)	1池		
浄 水 池	RC造 幅64.0m 長30.0m 深3.5m	1池		
排 水 処 理 施 設	濃 縮 槽	RC造 内径18.0m 深4.7m 有効容量1,200m ³	2池	
	排水処理設備	脱水機1.5m×2.0m×200ch (脱水面積1,000m ²)	2台	
	排水処理棟	RC造 2階建 延床面積997.5m ²	1棟	
送 配 水 施 設	送 水 ポ ン プ 井	RC造 幅26.5m 長5.0m 深2.9m	1池	休止 (2019年2月28日)
	送 水 ポ ン プ	口径500mm×350mm 揚程43.3m 揚水量27.5m ³ /分 240kW	3台	
	計 量 器	口径1,350mm 超音波流量計	1台	
	サージタンク	PC造 直径5.0m 高12m 容量180m ³	1基	
電 気 設 備	受 電 設 備	6,600V 2回線受電	1式	
	発 電 設 備	ディーゼルエンジン発電機160PS 100kVA 440V	1式	
	太 陽 光 発 電	180kW	1式	
管 理 施 設	管 理 棟	RC造 2階建 延床面積1,841m ²	1棟	
	監視制御装置	主監視制御装置2台	1式	

3 拡張事業

(1) 事業計画

〈 臨海系 〉

区分	事業概要
創設	1961年(昭和36年)10月, 日本鋼管(株)の福山市立地が決定したが, 用水型大企業のため大量の工業用水の確保が誘致の絶対条件であった。また, 国においても1962年(昭和37年)全国総合開発計画が策定され, 1964年(昭和39年)9月福山市を中心とする広島・岡山両県の8市13町1村が備後工業整備特別地域に指定された。これらの状況において短期間のうちに工業用水を確保しなければならず, 水源は芦田川に求め, 浄水場用地を1962年(昭和37年)8月御幸町中津原に決定して, 取水堰堤・沈砂池・沈澱池・送水ポンプ・送配水管・配水池等を建設し, 1965年(昭和40年)4月1日同社福山製鉄所へ給水を開始し, 諸施設の整備を行った。
拡張	日本鋼管(株)福山製鉄所の高炉増設計画に沿って工業用水道施設の建設を必要としたため, 引続き拡張事業として着工することとなった。まず, 既設三川ダムの5m嵩上げ工事を広島県へ委託し, 水源を確保すると同時に工業用水道施設の建設を中津原浄水場を中心に行い, 1972年度(昭和47年度)で一応の完成をみたが, 将来的安定取水のため1978年(昭和53年)八田原ダムに建設費負担で参加し, 着工以来20数年の歳月を費やして1997年度(平成9年度)に完成した。経済の安定成長, 低成長への移行に伴い, 市勢の活性化を図るため均衡のとれた多角的な産業構造への変換が求められていた折り, 1983年(昭和58年)5月シャープ(株)の本市進出が決定した。これに伴い, 2か年で既設φ1,200mm配水管から分岐しφ350mm～φ400mm配水管の布設並びに加圧ポンプ所を建設し, 1984年(昭和59年)8月から給水を開始している。
変更	昭和40年代の高度経済成長が, オイルショックを機に安定から低成長の時代に移行するとともに, 資源の循環型システムの導入も拡がり, 水需要は減量安定した。また, 芦田川における水源開発も三川ダムの嵩上げによる日量6万 m^3 , 八田原ダム建設による日量5万 m^3 が限界と考えられ, 自流の日量7万 m^3 とあわせて計画給水量を日量18万 m^3 に変更した。

〈 河口堰系 〉

区分	事業概要
創設	芦田川河口1.3km地点に全長450mの可動堰を建設し, 洪水の疎通能力の増大を計るとともに, 海水の遡上を阻止し塩害防除を計る治水効果と工業用水17万 m^3 /日を確保する利水効果を目的に1969年(昭和44年)建設省において芦田川河口堰建設事業が着工され, 利水者には広島県が決定した。その後, 1972年(昭和47年)福山市が芦田川河口堰を水源とし給水区域を箕島地区工業団地・鋼管町等とする工業用水道事業を建設することになったため, 1973年(昭和48年)芦田川河口堰工業用水道事業を開始し, 広島県からダム使用権設定予定者の地位の承継を行うとともに浄水場用地の買収, 工業用水道施設の建設に着工した。給水は, 付近に適当な高地がないため配水池を設けずに浄水場からの加圧送水とし, また蓮池工業用水道施設が老朽化していたため, 1978年(昭和53年)の一部給水開始時に同工業用水道事業を廃止・統合している。建設省施行の芦田川河口堰建設事業は, 一部河道掘削を残し1981年(昭和56年)に約150億円で作成しているが, 福山市施行の工業用水道施設は当初計画どおりの水需要がなく, 11万3千 m^3 /日の給水能力で1983年度(昭和58年度)から建設事業を休止していた。その後は, 1990年度(平成2年度)シャープ(株)の給水申込みにより配水設備の整備を行ったが, 再度休止し現在に至っている。

◆ 臨海工業用水道事業及び芦田川河口堰工業用水道事業を統合し, 福山市工業用水道事業とした。

〈 福山市工業用水道 〉

区分	事業概要
	臨海及び河口堰の両工業用水道事業は, 1991年度(平成3年度)に料金の平準化を行っており, 既に会計を一本化している。 河口堰工業用水道事業は, 水量は安定しているが, 取水位置が芦田川の河口より上流1.7kmと芦田川最下流で取水のため水質が不安定であり, また臨海工業用水道事業は, 渇水時には上水道優先となり, 自主節水等の取水制限がかかるため, 緊急時における相互融通を可能にして, 安定した供給に努めるべく両事業を統合した。

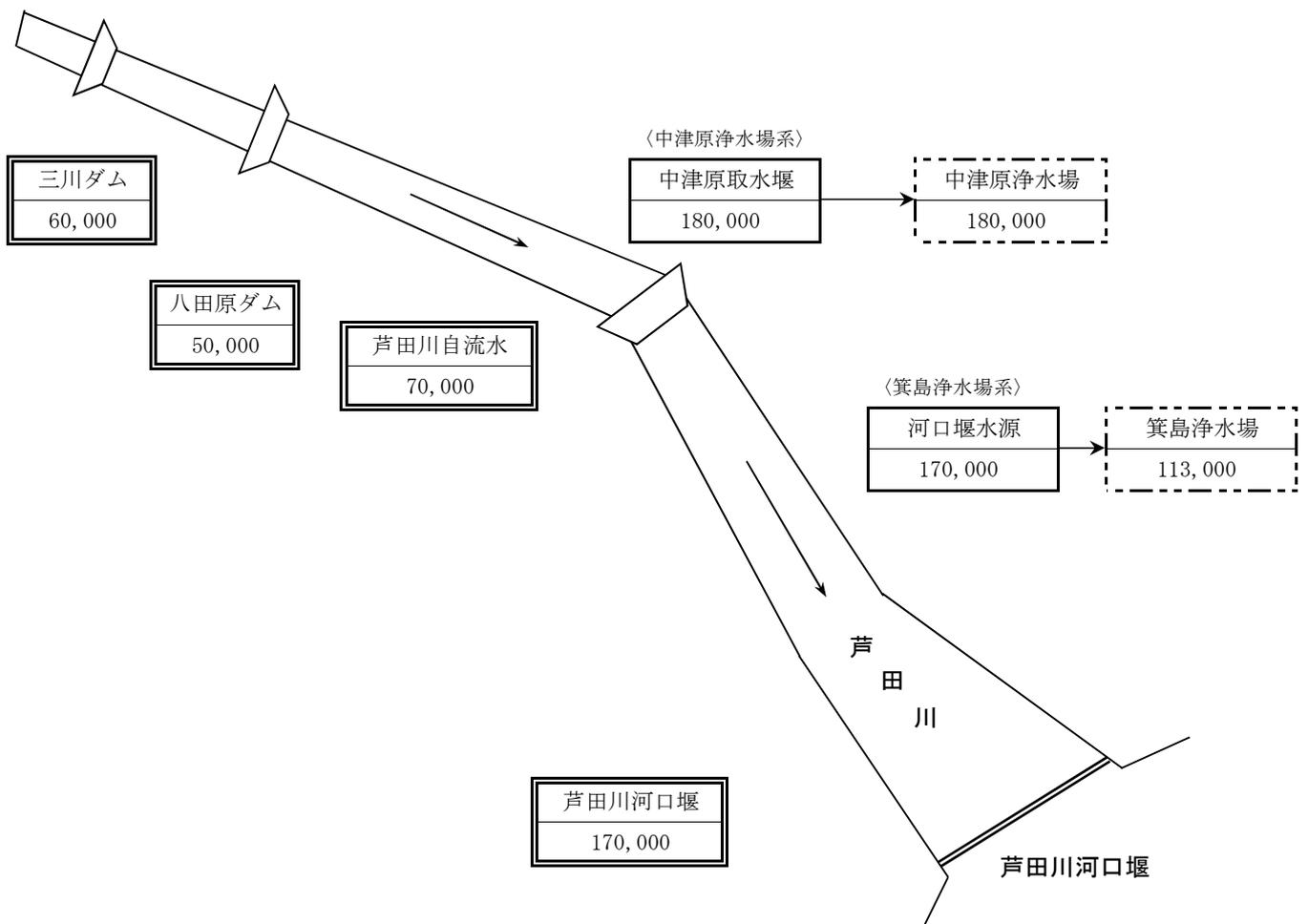
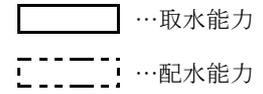
承認年月日	起工年月日	竣工年月日	工費	計画給水量	摘要
38企第997号 昭和38. 3. 28	1963. 4. 2 (昭和38)	1968. 6. 30 (昭和43)	円 1, 390, 000, 000	m ³ /日 120, 000	1期事業
44企第3428号 昭和44. 6. 14	1968. 4. 1 (昭和43)	1998. 3. 31 (平成10)	15, 330, 000, 000	120, 000	2期事業 八田原ダム建設費のうち福山市工水の負担分 10. 2%
変更届 福水経第1405号 平成2. 8. 29				180, 000	1期事業 60, 000m ³ /日 2期事業 120, 000m ³ /日

承認年月日	起工年月日	竣工年月日	工費	計画給水量	摘要
48企第4069号 昭和48. 7. 24	1973. 4. 1 (昭和48)	休止中	円 24, 300, 000, 000 (予定)	m ³ /日 158, 000	芦田川河口堰建設費のうち福山市の負担分 77. 0% 建設省負担分 23. 0%

承認年月日	起工年月日	竣工年月日	工費	計画給水量	摘要
平成18. 3. 10地第3号 平成18. 3. 31			円	m ³ /日 338, 000	臨海系 180, 000m ³ /日 河口堰系 158, 000m ³ /日

(2) 水源系統図

(単位：m³/日)



(3) 導水管・送水管・配水管

〈中津原浄水場〉

ア 導水管

(単位：m)

口径	総延長	管種・口径別内訳			
		ヒューム管	鋼管	塩化ビニル管	ポリエチレン管
2022年度	542	—	542	—	—
1,200mm	249	—	249	—	—
1,400mm	4	—	4	—	—
1,500mm	2	—	2	—	—
1,800mm	287	—	287	—	—

イ 送水管

(単位：m)

口径	総延長	管種・口径別内訳			
		鋳鉄管	鋼管	塩化ビニル管	ポリエチレン管
2022年度	6,355	—	6,355	—	—
1,100mm	6,355	—	6,355	—	—

ウ 配水管

(単位：m)

口径	総延長	管種・口径別内訳			
		鋳鉄管	鋼管	塩化ビニル管	ポリエチレン管
2022年度	16,612	869	15,743	—	—
350mm	1,271	—	1,271	—	—
400mm	2,621	869	1,752	—	—
1,200mm	12,720	—	12,720	—	—

〈箕島浄水場〉

ア 導水管

(単位：m)

口径	総延長	管種・口径別内訳			
		鋳鉄管	鋼管	塩化ビニル管	ポリエチレン管
2022年度	38	—	38	—	—
1,000mm	11	—	11	—	—
1,500mm	27	—	27	—	—

イ 配水管

(単位：m)

口径	総延長	管種・口径別内訳			
		鋳鉄管	鋼管	塩化ビニル管	ポリエチレン管
2022年度	32,828	12,861	18,166	432	1,369
100mm	1,231	898	—	162	171
150mm	2,947	1,431	48	270	1,198
200mm	3,540	3,495	45	—	—
250mm	1,124	1,106	18	—	—
300mm	607	132	475	—	—
350mm	3,055	1,529	1,526	—	—
400mm	4,303	1,608	2,695	—	—
450mm	—	—	—	—	—
500mm	3,485	2,662	823	—	—
600mm	6,282	—	6,282	—	—
700mm	229	—	229	—	—
900mm	2,565	—	2,565	—	—
1,100mm	608	—	608	—	—
1,350mm	2,852	—	2,852	—	—

導水管・送水管・配水管総延長計

(単位：m)

導水管	送水管	配水管	合計
580	6,355	49,440	56,375

(4) 建設改良工事の概況（1件3千万円以上の工事）

ア 配水管改良事業

工事名	工事費（円）	工事場所	施行内容
配水管布設工事 （工水配改3-1）	169,932,620	新浜町二丁目及び引野町	配水管 口径1,100mm 延長6.9m 口径900mm 延長481.9m
配水管布設工事 （工水配改4-3）	98,120,000	箕沖町	配水管 口径800mm 延長570.1m
配水管布設工事 （工水配改4-2）	92,403,300	鋼管町	配水管 口径400mm 延長457.1m
配水管布設工事 （工水配改4-1）	81,759,700	鋼管町	配水管 口径400mm 延長411.8m

イ 施設改良事業

工事名	工事費（円）	工事場所	施行内容
箕島浄水場2系沈澱池機械設備取替工事	178,200,000	箕島町	揺寄設備取替工 一式 電気設備改修工 一式

(5) 保存工事の概況（1件5百万円以上の工事）

工事名	工事費（円）	工事場所	施行内容
バタフライ弁設置工事	78,659,900	箕島町	バタフライ弁 口径900mm設置 1基

4 給 水

(1) 取水量・配水量・有収水量

(単位：m³)

年度	中 津 原 浄 水 場			箕 島 浄 水 場			合 計		
	取 水 量	配 水 量	有収水量 (検針水量)	取 水 量	配 水 量	有収水量 (検針水量)	取 水 量	配 水 量	有収水量 (検針水量)
2018	61,846,731	61,535,661	61,204,924	19,159,304	18,894,242	18,532,940	81,006,035	80,429,903	79,737,864
2019	60,493,354	60,144,225	59,808,680	25,526,868	25,276,869	24,992,955	86,020,222	85,421,094	84,801,635
2020	61,119,177	60,754,891	60,485,570	24,021,667	23,763,914	23,328,712	85,140,844	84,518,805	83,814,282
2021	61,493,765	61,222,301	60,931,750	28,267,210	27,969,124	27,636,123	89,760,975	89,191,425	88,567,873
2022	60,952,095	60,633,369	60,245,155	27,163,022	26,835,704	26,513,802	88,115,117	87,469,073	86,758,957
4月	5,112,844	5,082,741	5,050,640	2,223,381	2,203,229	2,172,375	7,336,225	7,285,970	7,223,015
5月	5,274,667	5,243,768	5,214,030	2,182,393	2,149,615	2,120,675	7,457,060	7,393,383	7,334,705
6月	5,095,900	5,057,539	5,039,750	2,102,592	2,068,746	2,044,720	7,198,492	7,126,285	7,084,470
7月	5,268,996	5,248,584	5,204,350	2,263,754	2,232,761	2,204,050	7,532,750	7,481,345	7,408,400
8月	5,295,882	5,271,029	5,244,100	2,454,910	2,428,573	2,416,070	7,750,792	7,699,602	7,660,170
9月	5,155,344	5,130,379	5,096,600	2,564,291	2,530,853	2,497,970	7,719,635	7,661,232	7,594,570
10月	5,282,664	5,264,517	5,228,060	2,349,535	2,313,681	2,266,480	7,632,199	7,578,198	7,494,540
11月	5,126,765	5,098,518	5,063,370	2,164,990	2,142,950	2,122,480	7,291,755	7,241,468	7,185,850
12月	5,232,508	5,213,069	5,173,460	1,911,873	1,887,007	1,862,270	7,144,381	7,100,076	7,035,730
1月	5,127,835	5,099,082	5,073,060	2,057,452	2,032,860	2,016,540	7,185,287	7,131,942	7,089,600
2月	4,345,072	4,320,276	4,280,660	2,307,953	2,277,483	2,251,100	6,653,025	6,597,759	6,531,760
3月	4,633,618	4,603,867	4,577,075	2,579,898	2,567,946	2,539,072	7,213,516	7,171,813	7,116,147
月平均	5,079,341	5,052,781	5,020,430	2,263,585	2,236,309	2,209,484	7,342,926	7,289,089	7,229,913
日平均	166,992	166,119	165,055	74,419	73,522	72,641	241,411	239,641	237,696
日最大	178,757	178,918	—	94,055	93,193	—	265,639	263,689	—
	1月26日	12月28日	—	8月25日	8月25日	—	8月25日	8月25日	—

(2) 電力・薬品

年度	中津原浄水場				箕島浄水場				
	電力量 (kWh)	料金 (円)	硫酸 アルミニウム (ℓ)	ポリ塩化 アルミニウム (kg)	電力量 (kWh)	料金 (円)	硫酸 アルミニウム (ℓ)	次亜塩素酸 ナトリウム (kg)	濃硫酸 (ℓ)
2018	8,102,172	121,190,915	314,694	56,369	1,736,130	34,346,149	457,123	83,557	93,866
2019	7,996,672	118,242,506	399,789	53,392	2,267,495	41,570,295	566,259	193,469	193,388
2020	7,992,143	106,318,416	332,845	61,670	2,203,075	37,844,933	673,117	200,864	155,977
2021	8,018,985	117,897,135	376,160	90,271	2,581,548	45,675,842	676,444	209,446	150,809
2022	7,928,139	190,372,698	354,844	32,879	2,514,645	67,071,883	800,691	218,055	169,444
4月	677,847	12,160,473	47,611	4,657	197,551	4,227,075	51,674	17,536	13,449
5月	652,971	11,976,438	35,048	92	204,759	4,412,555	65,876	20,186	7,077
6月	672,666	13,075,671	45,290	-	201,910	4,476,209	76,641	26,638	11,349
7月	669,174	13,289,690	41,630	19,885	188,827	4,332,705	97,826	43,370	12,108
8月	694,116	14,989,871	35,779	3,499	220,842	5,325,130	89,580	44,630	13,613
9月	694,895	16,035,382	21,262	4,644	246,970	6,235,573	71,731	23,462	11,476
10月	673,454	17,052,866	15,180	-	244,099	6,717,738	54,304	14,313	17,685
11月	672,334	17,857,603	17,288	102	215,470	6,306,826	38,818	7,684	17,724
12月	646,141	18,139,154	17,165	-	199,814	6,215,720	51,288	5,670	17,244
1月	667,156	19,431,094	27,611	-	180,149	5,907,614	59,063	4,732	20,039
2月	633,745	20,000,349	22,387	-	195,742	6,453,291	66,546	4,526	18,886
3月	573,640	16,364,107	28,593	-	218,512	6,461,447	77,344	5,308	8,794
月平均	660,678	15,864,392	29,570	2,740	209,554	5,589,324	66,724	18,171	14,120
日平均	21,721	521,569	972	90	6,889	183,759	2,194	597	464

※ 料金は税込である。

※ 電力量及び料金は、加圧ポンプ所分を含まない。

その他の電力量	大門第1ポンプ所	- kWh (休止中)
	大門第2ポンプ所	457,739 kWh
	蔵王配水池 (電灯量)	1,156 kWh
	箕島浄水場太陽光発電	185,540 kWh (8,063,730円)
	売電力量	2,216 kWh
	使用電力量	
その他の薬品	硫酸銅	6,240 kg (箕島浄水場, 年間使用量)

(3) 水質検査

検査項目	中津原浄水場			箕島浄水場			供給規程
	原水	浄水	配水	原水	浄水	給水	
水温 (°C)	17.4	17.9	18.4	18.2	18.2	18.7	常温
鉄 (mg/L)	0.12	0.10	0.15	0.33	0.03	0.12	-
マンガン (mg/L)	0.039	0.033	0.047	0.071	0.036	0.035	-
塩素イオン (mg/L)	7.6	7.6	7.7	12.0	12.8	12.9	200mg/L以下
有機物 (TOC) (mg/L)	1.7	1.7	1.7	3.2	2.4	1.8	-
pH 値	7.8	7.7	7.6	9.2	7.1	7.0	5.8~8.6
濁度 (度)	2.0	1.7	2.1	11	1.5	1.2	10度以下
総酸度 (mg/L)	1.2	1.3	0.9	<0.1	5.3	6.7	-
総アルカリ度 (mg/L)	35.7	33.6	32.9	46.9	27.3	27.5	-
電気伝導率 (mS/m)	13.1	13.3	13.4	17.3	18.7	18.8	-
蒸発残留物 (mg/L)	90	91	95	128	124	124	-
カルシウム、マグネシウム等〔硬度〕 (mg/L)	35.1	35.1	35.0	47.5	49.1	49.2	-
銅 (mg/L)	-	-	-	<0.01	0.04	0.03	-
硫酸イオン (mg/L)	10.9	14.1	14.9	15.6	40.3	40.5	-

※ 数値は、定期検査の年間平均値である。

5 業務

(1) 工業用水道料金調定収納

(単位：件, 円, 税込)

年度	調定		収納		未収		収納率	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
2018	326	2,990,913,709	298	2,749,131,142	28	241,782,567	91.41%	91.92%
2019	336	3,181,586,314	308	2,926,360,845	28	255,225,469	91.67%	91.98%
2020	333	2,911,369,043	306	2,673,554,711	27	237,814,332	91.89%	91.83%
2021	324	3,030,110,328	297	2,785,775,787	27	244,334,541	91.67%	91.94%
2022	324	2,915,324,519	297	2,673,445,138	27	241,879,381	91.67%	91.70%

※ 調定及び収納は、当該年度のものである。

※ 各年度の未収については、3月調定の納期末到来分（納期：4月15日）である。

※ 未収は、不納欠損前の数値である。

(2) 料金表（1か月、税抜）

2020年（令和2年）7月1日から		
基本料率	基本水量1m ³ につき	27円50銭
使用料率	基本使用水量1m ³ につき	1円50銭
超過料率	超過使用水量1m ³ につき	43円50銭

6 財務

(1) 決算報告書

ア 収益的収入及び支出

収入

区 分	予 算		
	当 初 予 算 額	補 正 予 算 額	地方公営企業法第24条第3項の規定による支出額に係る財源充当額
第1款 工業用水道事業収益	円 3,065,364,000	円 100,000,000	円 0
第1項 営業収益	2,831,817,000	0	0
第2項 営業外収益	233,546,000	100,000,000	0
第3項 特別利益	1,000	0	0

支出

区 分	予 算				
	当初予算額	補正予算額	予 備 費 額 支 出 費 額	流用増減額	地方公営企業法第24条第3項の規定による支出額
第1款 工業用水道事業費用	円 2,744,894,000	円 72,590,000	円 0	円 0	円 0
第1項 営業費用	2,675,285,000	72,590,000	0	△ 64,049,000	0
第2項 営業外費用	59,608,000	0	0	64,049,000	0
第3項 特別損失	1,000	0	0	0	0
第4項 予備費	10,000,000	0	0	0	0

イ 資本的収入及び支出

収入

区 分	予 算			地方公営企業法第26条の規定による繰越額に係る財源充当額
	当 初 予 算 額	補 正 予 算 額	小 計	
第1款 工業用水道事業資本的収入	円 103,901,000	円 0	円 103,901,000	円 0
第1項 国庫補助金	103,900,000	0	103,900,000	0
第2項 固定資産売却代金	1,000	0	1,000	0

支出

区 分	予 算					地方公営企業法第26条の規定による繰越額
	当初予算額	補正予算額	予 備 費 額 支 出 費 額	流 用 増 減 額	小 計	
第1款 工業用水道事業資本的支出	円 1,551,822,000	円 △ 2,078,000	円 0	円 0	円 1,549,744,000	円 161,300,000
第1項 建設改良費	1,370,850,000	△ 2,078,000	0	0	1,368,772,000	161,300,000
第2項 企業債償還金	178,972,000	0	0	0	178,972,000	0
第3項 予備費	2,000,000	0	0	0	2,000,000	0

資本的収入額が資本的支出額に不足する額 1,021,452,533円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 71,424,877円、減債積立金取崩し額 178,971,126円、建設改良積立金取崩し額 454,797,292円及び過年度分損益勘定留保資金 316,259,238円で補てんした。

額		決 算 額	予 算 額 に 比 べ 決 算 額 の 増 減	備 考
合 計				
円	円	円	円	
3,165,364,000	3,247,328,084	81,964,084	(うち, 仮受消費税及び地方消費税 266,301,431円)	
2,831,817,000	2,929,326,419	97,509,419	(うち, 仮受消費税及び地方消費税 266,301,431円)	
333,546,000	318,001,665	△ 15,544,335	(うち, 仮受消費税及び地方消費税 2,220,787円)	
1,000	0	△ 1,000		

額			決 算 額	地方公営企業法 第26条第2項 の規定による繰 越額	不 用 額	備 考
小 計	地方公営企業法 第26条第2項 の規定による繰 越額	合 計				
円	円	円	円	円	円	
2,817,484,000	0	2,817,484,000	2,563,234,951	0	254,249,049	
2,683,826,000	0	2,683,826,000	2,439,578,756	0	244,247,244	(うち, 仮払消費税 及び地方消費税 99,085,070円)
123,657,000	0	123,657,000	123,656,195	0	805	(うち, 納付税額 107,108,700円)
1,000	0	1,000	0	0	1,000	
10,000,000	0	10,000,000	0	0	10,000,000	

額		決 算 額	予 算 額 に 比 べ 決 算 額 の 増 減	備 考
継続費通次繰越額に 係る財源充当額	合 計			
円	円	円	円	
0	103,901,000	59,701,922	△ 44,199,078	
0	103,900,000	59,701,922	△ 44,198,078	
0	1,000	0	△ 1,000	

額		決 算 額	翌 年 度 繰 越 額			不 用 額	備 考
継 続 費 通 次 繰 越	合 計		地方公営企業法 第26条の規定 による繰越額	継 続 費 通 次 繰 越	合 計		
円	円	円	円	円	円	円	
0	1,711,044,000	1,081,154,455	580,800,000	0	580,800,000	49,089,545	
0	1,530,072,000	902,183,329	580,800,000	0	580,800,000	47,088,671	(うち, 仮払消費税 及び地方消費税 76,852,324円)
0	178,972,000	178,971,126	0	0	0	874	
0	2,000,000	0	0	0	0	2,000,000	

(2) 比較損益計算書

区 分	2020年度		2021年度		2022年度		対 前 年 度	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	率
事 業 収 益	円 2,889,678,076	% 100.0	円 3,046,903,589	% 100.0	円 2,978,805,866	% 100.0	円 △ 68,097,723	% 97.8
営 業 収 益	2,654,677,192	91.9	2,765,015,823	90.8	2,663,024,988	89.4	△ 101,990,835	96.3
給 水 収 益	2,646,699,192	91.6	2,754,645,823	90.4	2,650,295,088	89.0	△ 104,350,735	96.2
他 会 計 負 担 金	-	-	4,000	0.0	9,900	0.0	5,900	247.5
そ の 他 営 業 収 益	7,978,000	0.3	10,366,000	0.4	12,720,000	0.4	2,354,000	122.7
営 業 外 収 益	235,000,884	8.1	235,272,821	7.7	315,780,878	10.6	80,508,057	134.2
受 取 利 息	2,993,183	0.1	1,219,397	0.0	1,800,747	0.1	581,350	147.7
他 会 計 負 担 金	2,768,000	0.1	1,906,000	0.1	103,004,000	3.5	101,098,000	5,404.2
長 期 前 受 金 戻 入	194,545,796	6.7	190,618,744	6.2	185,761,789	6.2	△ 4,856,955	97.5
雑 収 益	34,693,905	1.2	41,528,680	1.4	25,214,342	0.8	△ 16,314,338	60.7
特 別 利 益	-	-	46,614,945	1.5	-	-	△ 46,614,945	皆減
固 定 資 産 売 却 益	-	-	46,614,945	1.5	-	-	△ 46,614,945	皆減
事 業 費 用	2,120,047,363	100.0	2,092,106,297	100.0	2,366,137,610	100.0	274,031,313	113.1
営 業 費 用	2,093,575,978	98.8	2,073,493,867	99.1	2,340,493,686	98.9	266,999,819	112.9
原 水 及 び 浄 水 費	879,881,114	41.5	896,875,069	42.9	1,031,264,781	43.6	134,389,712	115.0
配 水 及 び 給 水 費	48,514,772	2.3	33,813,756	1.6	118,148,339	5.0	84,334,583	349.4
業 務 及 び 総 係 費	168,364,703	8.0	156,465,053	7.5	201,992,578	8.5	45,527,525	129.1
減 価 償 却 費	984,429,662	46.4	981,590,066	46.9	987,774,776	41.7	6,184,710	100.6
資 産 減 耗 費	12,385,727	0.6	4,749,923	0.2	1,313,212	0.1	△ 3,436,711	27.6
営 業 外 費 用	26,471,385	1.2	18,612,430	0.9	25,643,924	1.1	7,031,494	137.8
支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費	26,467,961	1.2	18,530,569	0.9	12,947,576	0.6	△ 5,582,993	69.9
雑 支 出	3,424	0.0	81,861	0.0	12,696,348	0.5	12,614,487	15,509.6
当 年 度 純 利 益	769,630,713	-	954,797,292	-	612,668,256	-	△ 342,129,036	-

(3) 比較貸借対照表

区 分	2020年度		2021年度		2022年度		対 前 年 度	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	率
固 定 資 産	18,883,198,590	71.2	18,587,819,626	68.3	18,420,462,724	66.9	△ 167,356,902	99.1
有形固定資産	9,547,370,279	36.0	9,699,101,143	35.6	9,972,107,969	36.2	273,006,826	102.8
土 地	879,593,026	3.3	877,550,787	3.2	877,550,787	3.2	-	100.0
建 物	689,725,060	2.6	672,533,274	2.5	644,466,990	2.3	△ 28,066,284	95.8
構 築 物	4,623,076,314	17.5	4,463,301,721	16.4	4,289,418,573	15.6	△ 173,883,148	96.1
機 械 及 び 装 置	3,055,998,808	11.5	3,021,177,724	11.1	2,810,676,016	10.2	△ 210,501,708	93.0
車 両 運 搬 具	3,597,452	0.0	4,249,265	0.0	4,685,732	0.0	436,467	110.3
工 具 器 具 及 び 備 品	81,252,016	0.3	70,699,517	0.2	77,145,513	0.3	6,445,996	109.1
建 設 仮 勘 定	214,127,603	0.8	589,588,855	2.2	1,268,164,358	4.6	678,575,503	215.1
無形固定資産	9,334,128,311	35.2	8,887,018,483	32.7	8,446,654,755	30.7	△ 440,363,728	95.0
投資その他の資産	1,700,000	0.0	1,700,000	0.0	1,700,000	0.0	-	100.0
流 動 資 産	7,621,131,061	28.8	8,612,661,763	31.7	9,101,272,572	33.1	488,610,809	105.7
現金及び預金	7,275,829,869	27.5	8,365,056,262	30.8	8,818,413,310	32.1	453,357,048	105.4
未 収 金	342,789,112	1.3	244,958,971	0.9	280,178,092	1.0	35,219,121	114.4
前 払 費 用	2,512,080	0.0	2,546,730	0.0	2,581,370	0.0	34,640	101.4
その他流動資産	-	-	99,800	0.0	99,800	0.0	-	100.0
資 産 合 計	26,504,329,651	100.0	27,200,481,389	100.0	27,521,735,296	100.0	321,253,907	101.2
固 定 負 債	892,903,562	3.4	719,896,000	2.7	577,625,904	2.1	△ 142,270,096	80.2
企 業 債	658,520,518	2.5	479,549,392	1.8	327,143,944	1.2	△ 152,405,448	68.2
引 当 金	234,383,044	0.9	240,346,608	0.9	250,481,960	0.9	10,135,352	104.2
流 動 負 債	450,735,839	1.7	555,716,591	2.0	538,059,652	2.0	△ 17,656,939	96.8
企 業 債	225,838,823	0.8	178,971,126	0.7	152,405,448	0.6	△ 26,565,678	85.2
未 払 金	209,905,818	0.8	362,337,600	1.3	368,433,291	1.3	6,095,691	101.7
引 当 金	14,991,198	0.1	14,407,865	0.0	17,220,913	0.1	2,813,048	119.5
繰 延 収 益	3,881,027,514	14.6	3,690,408,770	13.6	3,558,921,456	12.9	△ 131,487,314	96.4
長 期 前 受 金	3,881,027,514	14.6	3,690,408,770	13.6	3,558,921,456	12.9	△ 131,487,314	96.4
負 債 合 計	5,224,666,915	19.7	4,966,021,361	18.3	4,674,607,012	17.0	△ 291,414,349	94.1
資 本 金	18,697,856,758	70.6	19,364,318,945	71.2	19,959,788,481	72.5	595,469,536	103.1
資 本 金	18,697,856,758	70.6	19,364,318,945	71.2	19,959,788,481	72.5	595,469,536	103.1
剰 余 金	2,581,805,978	9.7	2,870,141,083	10.5	2,887,339,803	10.5	17,198,720	100.6
資 本 剰 余 金	261,353,737	1.0	261,353,737	0.9	261,353,737	1.0	-	100.0
利 益 剰 余 金	2,320,452,241	8.7	2,608,787,346	9.6	2,625,986,066	9.5	17,198,720	100.7
資 本 合 計	21,279,662,736	80.3	22,234,460,028	81.7	22,847,128,284	83.0	612,668,256	102.8
負 債 資 本 合 計	26,504,329,651	100.0	27,200,481,389	100.0	27,521,735,296	100.0	321,253,907	101.2
有形固定資産減価償却累計	14,269,078,154	-	14,655,797,858	-	15,084,328,714	-	428,530,856	-

(4) 比較費用構成表

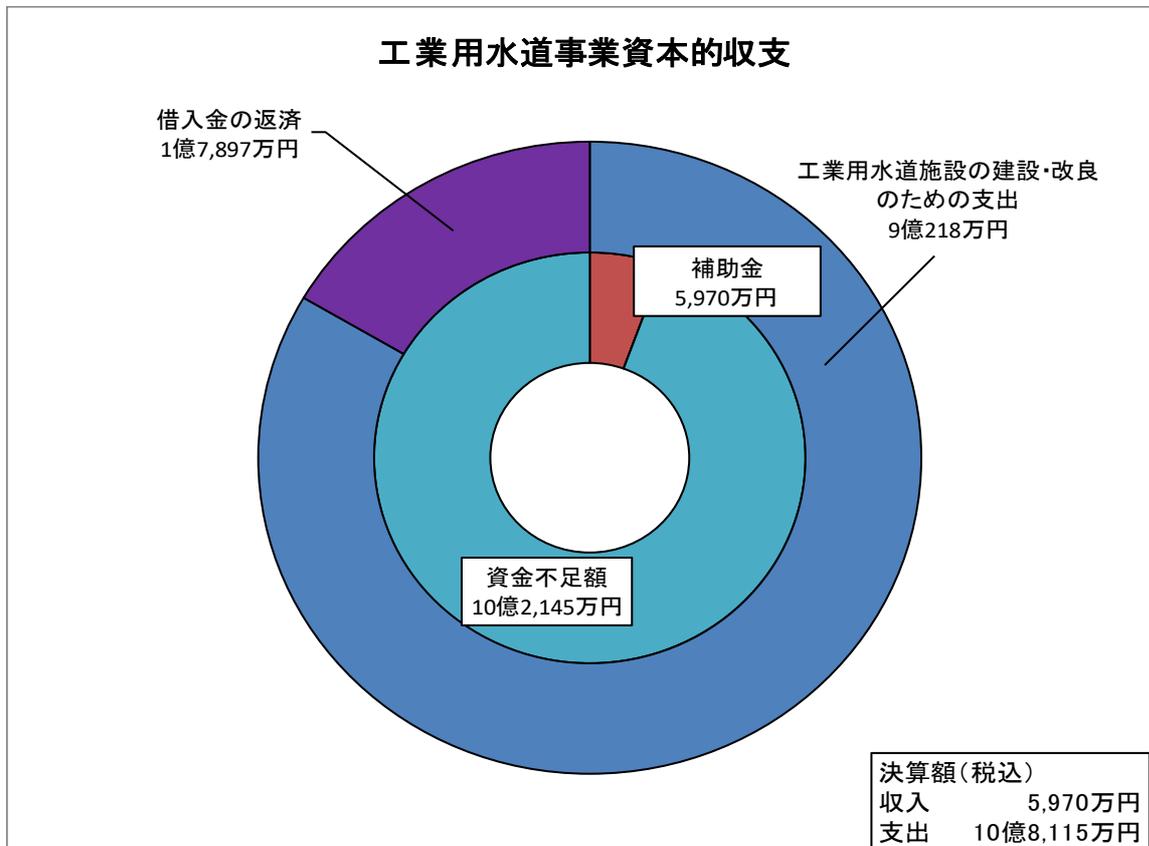
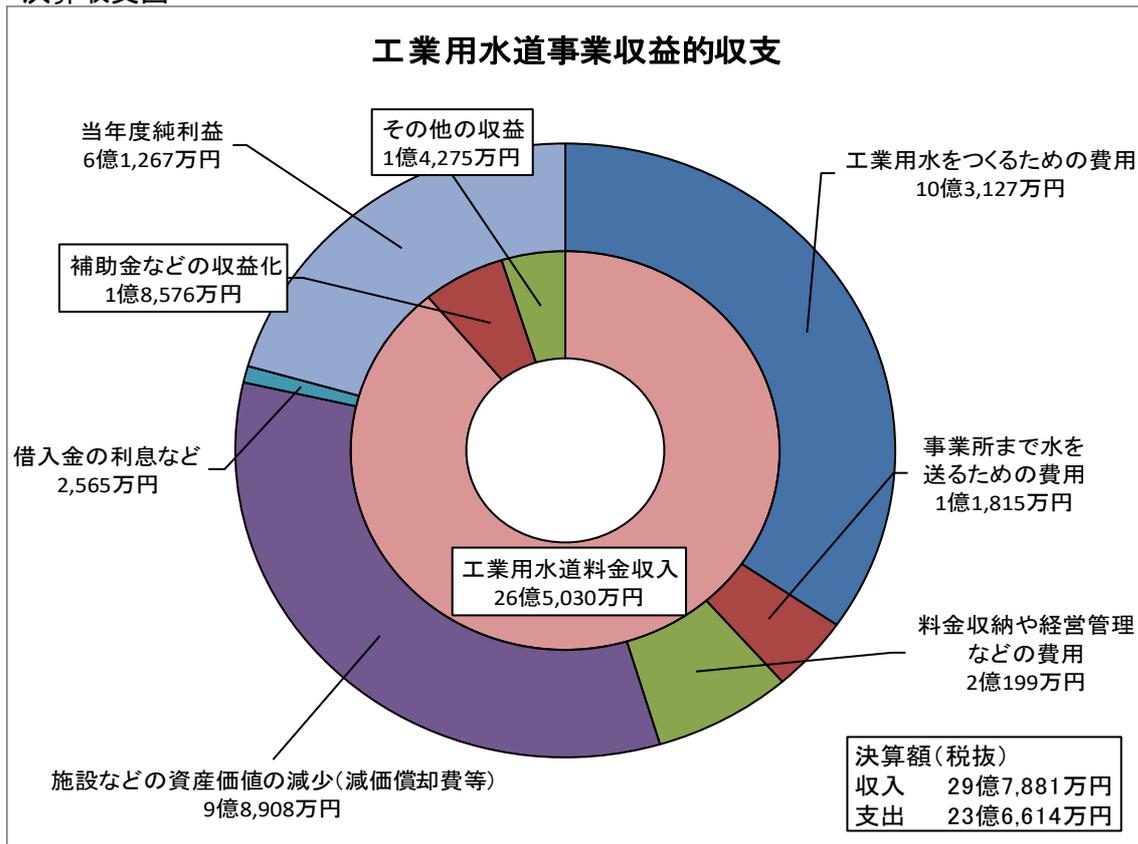
区 分	2020年度		2021年度		2022年度		対前年度	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	率
職員給与費	千円 227,651	% 10.8	千円 220,647	% 10.6	千円 254,486	% 10.8	千円 33,839	% 115.3
給 料	112,204	5.3	108,337	5.2	116,795	5.0	8,458	107.8
手当等	51,161	2.4	50,464	2.4	64,484	2.7	14,020	127.8
賞与引当金 繰入額	9,832	0.5	9,435	0.5	11,500	0.5	2,065	121.9
報 酬	-	-	-	-	1,311	0.1	1,311	皆増
法定福利費	35,528	1.7	33,595	1.6	38,420	1.6	4,825	114.4
法定福利費 引当金繰入額	1,864	0.1	1,808	0.1	2,243	0.1	435	124.1
退職給付費	17,062	0.8	17,008	0.8	19,733	0.8	2,725	116.0
動 力 費	137,400	6.5	156,024	7.5	※ -	-	△ 156,024	皆減
委 託 料	164,285	7.7	196,578	9.4	※ 534,170	22.6	337,592	271.7
修 繕 費	45,401	2.1	19,137	0.9	76,943	3.3	57,806	402.1
薬 品 費	37,207	1.8	40,146	1.9	※ 422	0.0	△ 39,724	1.1
材 料 費	15,199	0.7	713	0.0	10,591	0.4	9,878	1,485.4
負 担 金	451,032	21.3	435,203	20.8	452,072	19.1	16,869	103.9
減価償却費	984,429	46.4	981,590	46.9	987,775	41.7	6,185	100.6
支 払 利 息	26,468	1.2	18,530	0.9	12,948	0.5	△ 5,582	69.9
その他経常費用	30,975	1.5	23,538	1.1	36,731	1.6	13,193	156.0
合 計	2,120,047	100.0	2,092,106	100.0	2,366,138	100.0	274,032	113.1

※浄水場外運転管理及び維持管理業務委託の拡大に伴い、動力費・薬品費等の一部を委託料へ含めた。

(5) 給水原価

区 分	2020年度		2021年度		2022年度		対前年度	
	金 額	1m ³ 当り	金 額	1m ³ 当り	金 額	1m ³ 当り	金 額	1m ³ 当り
職員給与費	千円 227,651	円/m ³ 2.68	千円 220,647	円/m ³ 2.49	千円 254,486	円/m ³ 2.93	千円 33,839	円/m ³ 0.44
動 力 費	137,400	1.62	156,024	1.76	-	-	△ 156,024	△ 1.76
委 託 料	164,285	1.93	196,578	2.22	534,170	6.16	337,592	3.94
修 繕 費	45,401	0.53	19,137	0.22	76,943	0.89	57,806	0.67
薬 品 費	37,207	0.44	40,146	0.45	422	0.00	△ 39,724	△ 0.45
材 料 費	15,199	0.18	713	0.01	10,591	0.12	9,878	0.11
負 担 金	451,032	5.30	435,203	4.91	452,072	5.21	16,869	0.30
減価償却費	914,133	10.74	911,294	10.29	917,479	10.58	6,185	0.29
支 払 利 息	26,468	0.31	18,530	0.21	12,948	0.15	△ 5,582	△ 0.06
そ の 他	30,975	0.36	23,538	0.27	36,731	0.42	13,193	0.15
合 計	2,049,751	24.09	2,021,810	22.83	2,295,842	26.46	274,032	3.63
年間総有収水量 (料金算定分)	85,074,867 m ³		88,567,873 m ³		86,758,957 m³		△ 1,808,916 m ³	

(6) 決算収支図



(7) 経営指標

項 目		単位	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
施 設	負 荷 率	%	82.6	86.9	87.1	88.4	90.9
	施 設 利 用 率	%	75.2	79.7	79.0	83.4	81.8
	最 大 稼 働 率	%	91.1	91.6	90.7	94.3	90.0
	有 収 率	%	99.14	99.27	99.17	99.30	99.19
	配 水 管 使 用 効 率	m ³ /m	1,426.7	1,515.2	1,499.2	1,582.1	1,551.6
	固 定 資 産 使 用 効 率	m ³ /万円	86.9	91.5	88.5	92.0	87.7
	契 約 率	%	77.6	77.6	80.2	80.2	83.3
	有 形 固 定 資 産 減 価 償 却 率	%	62.73	62.40	62.80	64.03	65.84
	管 路 更 新 率	%	0.19	0.27	0.00	0.00	1.54
生 産 性	職 員 1 人 当 た り 給 水 事 業 所	所/人	0.97	0.97	0.93 (0.96)	0.96 (1.00)	0.96 (1.00)
	職 員 1 人 当 た り 有 収 水 量	m ³	2,749,582	2,924,194	2,890,148 (2,993,367)	3,163,138 (3,280,292)	3,098,534 (3,213,295)
健 全 性	固 定 資 産 構 成 比 率	%	76.1	73.1	71.2	68.3	66.9
	自 己 資 本 構 成 比 率	%	92.2	93.6	94.9	95.3	95.9
	固 定 負 債 構 成 比 率	%	5.5	4.2	3.4	2.6	2.1
	経 常 収 支 比 率	%	135.0	151.7	136.3	143.4	125.9
	累 積 欠 損 金 比 率	%	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	流 動 比 率	%	1,030.7	1,208.9	1,690.8	1,549.8	1,691.5
	固 定 資 産 回 転 率	回	0.15	0.15	0.14	0.15	0.15
	企 業 債 残 高 対 給 水 収 益 比 率	%	54.1	40.4	33.4	23.9	18.1
料 金	供 給 単 価	円/m ³	32.23	32.79	31.11	31.10	30.55
	給 水 原 価	円/m ³	25.31 ※5 (23.72)	22.71 (21.20)	24.09 (22.63)	22.83 (21.47)	26.46 (25.13)
	料 金 回 収 率	%	127.3 ※5 (135.9)	144.4 (154.7)	129.1 (137.5)	136.2 (144.9)	115.5 (121.6)

※ 金額は税抜である。

算 出 基 礎		説 明
$\frac{239,641}{263,689}$	$\frac{\text{m}^3}{\text{m}^3}$	$\frac{\text{日平均配水量}}{\text{日最大配水量}}$ 1日最大配水量に対する1日平均配水量の割合を示すもので、工業用水道施設の効率性を表す指標。
$\frac{239,641}{293,000}$	$\frac{\text{m}^3}{\text{m}^3}$	$\frac{\text{日平均配水量}}{\text{配水能力※1}}$ 施設の配水能力に対する1日平均配水量の割合を示すもので、施設の利用状況や適正規模を判断する指標。
$\frac{263,689}{293,000}$	$\frac{\text{m}^3}{\text{m}^3}$	$\frac{\text{日最大配水量}}{\text{配水能力※1}}$ 施設の配水能力に対する1日最大配水量の割合を示すもので、工業用水道施設の効率性を表す指標。
$\frac{86,758,957}{87,469,073}$	$\frac{\text{m}^3}{\text{m}^3}$	$\frac{\text{有収水量(計量分)}}{\text{配水量}}$ 年間総配水量に対する年間総有収水量の割合を示すもので、工業用水道施設を通して供給される水量が、どの程度収益につながっているかを表す指標。
$\frac{87,469,073}{56,375}$	$\frac{\text{m}^3}{\text{m}}$	$\frac{\text{配水量}}{\text{導送配水管延長}}$ 導送配水管に対する年間総配水量の割合を示すもので、配水管の使用効率を表す指標。
$\frac{87,469,073}{9,972,108}$	$\frac{\text{m}^3}{\text{千円}}$	$\frac{\text{配水量}}{\text{有形固定資産}}$ 有形固定資産に対する年間総配水量の割合を示すもので、工業用水道施設の使用効率を表す指標。
$\frac{244,025}{293,000}$	$\frac{\text{m}^3}{\text{m}^3}$	$\frac{\text{契約水量}}{\text{配水能力※1}}$ 施設能力に対する契約水量の割合を示すもので、工業用水道施設の効率性を表す指標。
$\frac{15,084,329}{22,910,722}$	$\frac{\text{千円}}{\text{千円}}$	$\frac{\text{有形固定資産減価償却累計額}}{\text{有形固定資産のうち償却対象資産の帳簿原価}}$ 資産の老朽化度を表すもので、有形固定資産のうち償却対象資産の減価償却がどの程度進んでいるかを表す指標。
$\frac{869}{56,375}$	$\frac{\text{m}}{\text{m}}$	$\frac{\text{当該年度に更新した管路延長}}{\text{管路延長}}$ 当該年度に更新した管路延長の割合を示す指標。
$\frac{27}{※2 \ 28}$	$\frac{\text{所}}{\text{人}}$	$\frac{\text{現在給水事業所}}{\text{損益勘定所属職員数}}$ 損益勘定職員1人当たりの現在給水事業所を示すもので、工業用水道サービスの生産性を表す指標。
$\frac{86,758,957}{※2 \ 28}$	$\frac{\text{m}^3}{\text{人}}$	$\frac{\text{有収水量(計量分)}}{\text{損益勘定所属職員数}}$ 損益勘定職員1人当たりの有収水量を示すもので、工業用水道サービスの生産性を表す指標。
$\frac{18,420,462}{27,521,735}$	$\frac{\text{千円}}{\text{千円}}$	$\frac{\text{固定資産}}{\text{固定資産+流動資産+繰延資産}}$ 総資産(固定資産・流動資産・繰延資産)に占める固定資産の割合を示すもので、経営の柔軟性を表す指標。
$\frac{26,406,049}{27,521,735}$	$\frac{\text{千円}}{\text{千円}}$	$\frac{\text{資本金+剰余金+評価差額等+繰延収益}}{\text{負債資本合計}}$ 総資本(負債及び資本)に対する自己資本の割合を示すもので、財務の健全性を表す指標。
$\frac{577,626}{27,521,735}$	$\frac{\text{千円}}{\text{千円}}$	$\frac{\text{固定負債}}{\text{負債資本合計}}$ 総資本(負債・資本)に占める固定負債の割合を示すもので、財務の健全性を表す指標。
$\frac{2,978,806}{2,366,138}$	$\frac{\text{千円}}{\text{千円}}$	$\frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}}$ 経常費用が経常収益によってどの程度賄われているかを表すもので、事業の収益性を表す指標。
$\frac{0}{2,663,025}$	$\frac{\text{千円}}{\text{千円}}$	$\frac{\text{当年度未処理欠損金}}{\text{営業収益-受託工事収益}}$ 営業収益に対する累積欠損金(営業活動により生じた損失で、前年度からの繰越利益剰余金等でも補填することができず、複数年度にわたって累積した損失のこと)の状況を表す指標。
$\frac{9,101,273}{538,060}$	$\frac{\text{千円}}{\text{千円}}$	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$ 流動負債に対する流動資産の割合を示すもので、短期的な債務に対する支払能力を表す指標。
$\frac{2,663,025}{17,491,822}$	$\frac{\text{千円}}{\text{千円}}$	$\frac{\text{営業収益-受託工事収益}}{\text{期末期首(固定資産-建設仮勘定)÷2}}$ 固定資産に対する営業収益の割合を示すもので、固定資産がどの程度経営活動に利用されているかを表す指標。
$\frac{479,549}{2,650,295}$	$\frac{\text{千円}}{\text{千円}}$	$\frac{\text{企業債残高}}{\text{給水収益}}$ 給水収益に対する企業債残高の割合を示すもので、企業債残高の規模を表す指標。
$\frac{2,650,295}{86,758,957}$	$\frac{\text{千円}}{\text{m}^3}$	$\frac{\text{給水収益}}{\text{有収水量(料金算定分)※4}}$ 有収水量1m ³ 当たりについて、どれだけ給水収益を得ているかを表す指標。
$\frac{2,295,842}{86,758,957}$	$\frac{\text{千円}}{\text{m}^3}$	$\frac{\text{経常費用-(受託工事費+材料売却原価+長期前受金戻入※3)}}{\text{有収水量(料金算定分)※4}}$ 有収水量1m ³ 当たりについて、どれだけ費用がかかっているかを表す指標。
$\frac{30.55}{26.46}$	$\frac{\text{円}}{\text{円}}$	$\frac{\text{供給単価}}{\text{給水原価}}$ 給水に係る費用が、どの程度給水収益で賄えているかを表すもので、料金水準等が適正かを評価する指標。

※1 配水能力は、実稼働能力とする。

※2 2020年度(令和2年度)から、損益勘定所属職員数には短時間勤務職員及び会計年度任用職員を含む。

()内は、短時間勤務職員及び会計年度任用職員を含まない場合の参考値である。

※3 みなし償却をしていた国庫補助金相当額

※4 2020年(令和2年)7月1日の料金改定により、6月30日までは年間契約水量+超過水量、7月1日からは使用水量とする。

※5 ()内は、総務省が示す全国統一的な基準による。